

## ありがとうの向こう側

及川 紗生おいかわ さき

私は今でも忘れられない言葉がある。数年前、母が私に、「お母さんが大病をして手術をした時、自分がもう死ぬかもしれないと思った。その時、家族に何という言葉を最後に残そうかと考えたら、笑顔とありがとうという言葉だけだった。」

私はこの話を聞いて愕然としました。母が死ぬなんて考えた事もないし、考えたくもない。それに最後に伝える言葉がありがとうのたったの五文字だなんて、あまりにも簡単すぎるのではないかと。

私がいもと同じ立場になったとしたら、何という言葉を残すだろう。目の前の死ぬという現実には怖くて怖くて、誰かにしがみついて泣き続けるかもしれない。自分だけがどうして死んでしまうのか、母に悪態をつくかもしれない。周りの健康な人がうらやましくて、口も利かなくなるかもしれない。どう考えても私には、笑顔とありがとうの言葉に辿り着くことは出来ないと思いました。

私は今五年生になり、もう一度このありがとうを考えてみました。ただどあの時の感想と今の感想は、ほぼ変わらない。しかし、少しだけ思うことがある。それは、私が学校の事で悩んでいた時、母が毎日長い時間私の話をウンウンと聞き、最後に必ず強く抱きしめてくれたこと。私のことを心配して声を掛けてくれた先生や

友達に、もう一度ありがとうを伝えたいと思いました。

この事を母に話したところ、母は

「とても大切なことに気付いたのね。ありがとうの言葉はたった五文字だけど、その向こう側にある優しさや人に対しての思いやり、いろいろな出来事が自分を成長させてくれる。その全てのことには、本当のありがとうなのよ。大切なものの目には見えないものだから、沢山の言葉を並べるよりも心に感じたありがとうは、本当に大切な言葉ね。」

と仰いました。私は母の話を聞いて、ずっと今まで心の奥底に沈んでいた風船が急に舞い上がり、目の前でパチンと音を立てて割れた感じがしました。その瞬間、半分母の気持ちがあった気がしました。私にはまだ、全てのことに対してありがとうを言う勇気は持てませんが、誰かの思いやりや優しさを感じた時には、笑顔で心からありがとうが言えると思います。

私はこれから沢山の人と出会い、いろいろな経験を積んでいくと思います。そしてこの先、心のこもったありがとうを伝えられる人になります。また、私自身もありがとうを受け取れる人になるよう、努力します。

お母さん、いつもそばにいてくれてありがとう。

お母さん、大切な言葉を教えてくれてありがとう。